

北文化小劇場施設利用のご案内

◆◆開放感あふれる間口の広い舞台の劇場です◆◆

北文化小劇場は公園隣の静かな環境の中にあり、木目と白を基調とした柔らかな和の雰囲気を持つ劇場です。演奏会や舞踊会など幅広い公演にご利用いただけます。



- ◆客席数 297席（椅子席237・柵席60）
- ◆舞台 間口14.5m 高さ6.0m 奥行8.2m
- ◆楽屋 2室
- ◆練習室 1室（45㎡）
- ◆駐車場 37台（併設図書館共用）
料金（30分以上一律）300円



練習室



楽屋

◆◆様々なシーンに合わせて特別な一日をお届けします◆◆



講演会でのご利用

ピアノ発表会でのご利用

映画会でのご利用

伝統芸能でのご利用

ホール競合受付のご案内

ホールは芸術文化活動でのご利用の場合、1年前からお申し込みが可能です。2019年4月1日～2020年2月29日まで天井脱落対策工事のためホール及び練習室は休館となりますが、劇場窓口は営業しております。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

※施設の空き情報は事業団HP <http://www.bunka758.or.jp/> からご覧いただけます。

ホール競合受付期間	
利用月	受付期間
2020年 4月分	2019年 4月 1日（月）～2019年 4月 5日（金）

- 受付時間
2019年4月～2020年2月末日
9:00～17:00 休館日を除きます。
- 休館日
日曜日
年未年始（12月29日～1月3日）

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [北文化小劇場]

お問い合わせ
TEL 052-910-3366 FAX 052-910-3367

アクセス
名古屋市北区志賀町4丁目60-31
地下鉄名城線「黒川」下車4番出口から北へ徒歩12分



この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

北文化小劇場だより ^{2019年} 4月

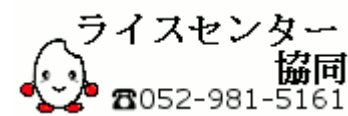
＜天井脱落対策工事＞
2019年4月1日～2020年2月29日
ホールと練習室は休館となります。



今より丈夫な劇場となって、
2020年3月1日に再オープンいたします。
それまでしばらくお待ちください。

劇場窓口はオープンしております。
チケットの販売、ホールの受付は行ってまいりますので、
お気軽にお越しください！

- 工事休館に伴い、休館日と営業時間が変更いたします
休館日/毎週日曜日 営業時間/9:00～17:00
お間違いのないよう、ご注意ください。



伝統芸能共育コーディネーター連載エッセイ 第三十五回

長唄名曲紹介～Vol. 8 番外編



長唄・唄方
杵屋六春先生

今回は番外編と題し、1月に北文化小劇場にて開催した公演「狂う～SCANDAL」の裏側をご紹介します。北文化小劇場には、まず花道のついたホールと楽屋が二つ、練習室がございます。楽屋はもちろんのこと、練習室もホールに繋がっているため楽屋としての使用も可能です。今回は出演者が多数でしたので、こんな楽屋割、練習室は雅楽ご出演の皆様、楽屋1は箏曲ご出演の皆様、楽屋2を日本舞踊出演者の皆様と長唄出演者で使用いたしました。今回、4ジャンルの先生方と一緒した「黒髪」。この曲解説は11月号にて記載したため、簡単にご紹介。伊東祐親の娘辰姫は、源頼朝への恋を北条政子に譲り、2人を2階へあげるが、髪をすいているうちに嫉妬に駆られて狂おしくなるという場面で、歌詞の内容はひとり寝で寂しく夜を明かす女心のやるせなさを詠んだものです。この曲を演奏するにあたり、曲は地唄を採用し、岡崎先生が唄う部分は地唄そのまま、六春が唄う部分は長唄の節にして演奏いたしました。セットがないため屏風を黒、毛氈を紺、照明をピンク、衣裳は地方（じかた・日本舞踊の伴奏者のこと）を白、立方（たちかた・日本舞踊の出演者）は黒、と舞台上の視覚にもこだわりました。最大のカギは雅楽の柴垣先生の加入方法でした。曲中は調弦などの諸事情で参加が出来ないため試行錯誤し、考えたのが曲が始まる前に北文化小劇場の最大の特徴でもある花道から、箏を演奏しながらご登場いただく演出でした。これで4人の競演が実現し、しっとりとした妖艶な黒髪の完成となりました。カーテンコールには雅楽の演奏に合わせて、まさに演舞を終えた柴垣先生はじめ出演者が花道から登場し、ご来場の皆様に御礼が出来ました。コーディネーター4人を始め、北文化小劇場はこれからも劇場の特性を生かした公演企画をしていきたいと思っております。どうか、皆様ぜひ、北文化小劇場へ！



「黒髪」公演風景



花道控え（鳥屋口）でスタンバイする出演者

The Polar Star Jazz Orchestra 活動報告 (vol.46)

平成30年度の活動を振り返って

最近のThe Polar Star Jazz Orchestraは、2月に3度目のコンサートを終え、ほっとひと息つくのも束の間、次のイベントに向けて練習に励んでいます！平成30年度は新メンバーが4名加入し、イベントには5本出演、演奏できる曲も増えました。北区のテーマ曲もそのうちのひとつですね。また、同じ北区にある施設、ユースクエア（青少年交流プラザ）や生涯学習センターにおいて、音楽監督と一部のメンバーにはなりますが、ジャズの講座に参加しました。そして、2月のコンサートでは昨年度に引き続き、チケットが完売するほどの人気ぶり。シンガーとの初共演、小編成での演奏もお客様に向けて初披露となりました。活動の幅が広がった一年になったのではないかと思います。メンバーからは、「ビッグバンド大好きです。楽しいです。」「良い環境で演奏できて嬉しいです。」「演奏技術の向上に大変役立ちました。」という嬉しい声をいただいております。ありがとうございます！



2月のコンサートでの演奏風景

2019年4月から活動5年目を迎えるPSJOですが、これからも多くの方にビッグバンドジャズをお届けできるよう活動してまいりますので、応援よろしく願いいたします。



北区のお店紹介 大曽根商店街を訪ねて～第18回 ポン・マルハチ～

JR、地下鉄、名鉄の大曽根駅を降り、歩いて2分程のところに商店街があります。手前があるのがオゾンアベニュー、その奥にあるのがオズモール。舗道、モニュメントが整備され、個性豊かな店舗が軒を連ねています。

今月はオズモール（大曽根商店街）の真ん中あたりに店を構える「ボン・マルハチ」を紹介いたします。大曽根商店街振興会の会長でもある店主の渡邊さんにお話を伺いました。—お店はいつ頃始められましたか？

「昭和26年に創業。それまで洋服を売っている所といえば、総合衣料店（年齢性別問わず衣料を扱う店）しかなかったが、専門店、それも『女性の服の専門店とは何ぞや』という事から始めたので名古屋のブティックの走りじゃないかな。」

先端のファッションを紹介したいという思いから、名古屋のお店で初めて東京のお店、東京のデザイナーから仕入れしていたとのこと。今も仕入れは東京、神戸が主で大阪からも少し仕入れしているのだそうです。

「最近ネットで買う人が増えて、デパートや専門店の力が小さくなったなあ。」とも。洋服を試着しないでインターネット通販で買う人が増え、また手ごろな価格帯の洋服が増えて、以前とは洋服との付き合い方も変化してきているようです。

ボン・マルハチは中高年の方対象のおでかけ向けの洋服がそろっていますので、洋服、ファッションに興味のある方、ぜひ一度ご覧になってはいかがでしょうか。—ところで最近のオズモール（大曽根商店街）の様子はどうか。

「昔はアーケード街になっていて栄えていたけど、今も面白いお店が沢山あるよ。」海苔専門店、ジグソーパズル専門店、ゴルフレッスンをする店、ギターを教える楽器店、また今話題の棋士が来店するというラーメン店等専門店ならではの特色を持った店が並んでいます。

春になり暖かくなってきましたので、オズモールに散歩がてら出かけてみませんか。



店内の様子



販売されている洋服



大曽根商店街振興会会長
ボン・マルハチ店主 渡邊さん



店舗外観

ボン・マルハチ（婦人服・婦人洋品）
北区大曽根2-11-8 TEL 981-1024
大曽根駅より徒歩5分
10時～17時 木曜日定休

施設事業のご案内

The Polar Star Jazz Orchestra 2019 新規参加者オーディションのお知らせ

The Polar Star Jazz Orchestraは、世代を超えて集まった参加者の相互交流と、音楽を通じた街の魅力創出に貢献することを目的に平成27年6月に結成された市民参加型のビッグバンドです。

平成31年度を迎えるにあたり、新たな参加者をオーディションにて募ります。

募集パートは決まり次第ご案内いたしますが、練習の見学は無料で行っておりますので、興味のある方は北文化小劇場までご連絡ください！

日時： 2019年6月13日（木） 18：00（予定）
会場： 北文化小劇場

【The Polar Star Jazz Orchestra について】

世代を超えて集まった参加者が、プロのジャズ奏者の指導のもとで練習を重ねながら交流を深め、ひとつのビッグバンドとして成長すること、そして北区内で行われる様々なイベントで演奏することにより、広く区民に愛される北区の名物ビッグバンドとなり、まちのにぎわい創出と魅力発信に貢献することを目標としています。

The Polar Star Jazz Orchestra（ザ・ポーラスター・ジャズ・オーケストラ 略称：PSJO）は、名古屋市北区のジャズビッグバンドであり、『北区の星になる』という意気込みから、北の星“北極星（The Polar Star）”にちなみ、ビッグバンド参加者からの公募によりネーミングされたものです。

活動内容： 原則月2回（基本木曜日に実施）の練習及び区内のイベント・発表公演等への参加（イベント・発表公演は土・日・休日に実施予定）
※2019年4月からの練習会場は、北文化小劇場のホールが工事休館のため、北区役所講堂にて行います。

参加費： 24,000円／年
定員： 30～35名程度
講師： 山崎貴大（PSJO音楽監督）はじめ、「AUTOBAHN JAZZ ORCHESTRA」メンバー